

チャレンジ精神を持とう

昨年度、暮れに上京して12月30日に島に戻ってきてから、3月6日に久しぶりに出張しました。出張で東京に行って、コロナウィルスに感染したら卒業式に出席できなくなるので、式が終わるまではできるだけ、東京へは行かずにオンラインで済ませようと考えたからでした。

さて家について、まず届いている170枚近い年賀状に目をとおしました。

すると、「校長の想い」をいろいろな人が見ていることを知りました。

「あけましておめでとうございます。校長の想い、読んでいます。」と、教え子からお世話になった先生に至るまで、読んでくれていることを知りました。

この「校長の想い」は、自分の体験談をもとにして、自分自身がやる気になった時のことを短い文章にして、神津高校の生徒が少しでも元気になって欲しいという想いから赴任以来、毎月一回ホームページに載せています。

先日は、外国にいる方からお子様を是非とも入学させたいとのことでお電話をいただきました。「電話をかけようか、どうしようか迷いましたけど、迷ったらやれ！ですよね」と令和2年3月に書いた「校長の想い」のタイトル「迷ったらやれ！」を言ってくれた時には、嬉しいを通り越して、しっかり書かなければいけないと改めて感じました。

ありがとうございました。

本校は、全校生徒数が今年度で55名になり、全員がとても素晴らしい能力を持った生徒の集団です。少なくとも私の高校時代よりも素敵な能力を抱えています。

体育館に渡る廊下が、画廊になっていて上手な絵が展示されています。文化祭をやれば動画の編集などはすばらしい出来でした。英語も2級を取得する生徒が複数人います。

ただ、「自分はそれほどでもない」といってチャレンジしない生徒が多くいます。

それを見ているともったいないことだと感じます。

教職員も一丸となって、チャレンジさせるように動いています。

今年度は、「チャレンジして良かった！」という声をたくさん聞きたいと思います。